

Heroldo de HEL 北海道エスペラント連盟

N-ro 70 (1997.11.30)

053 苫小牧市宮の森2丁目18-18 星田 淳 方

HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

Ĉe Atuŝi HOŝIDA

Mijanomori 2-18-18, TOMAKOMAI

053 Japanio

ORGANO DE
HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

ENHAVO

La 61a Hokkajda Kongreso de Esperanto
第61回北海道エスペラント大会

Raporto 報告

Ĉefoficisto de HEL HEL事務局長 2

オブザーバー参加者の感想 5

Gratulo de Vladivostoka E-klubo

PACIFIKO por la 61-a Hokkajda Kongreso
de Esperanto

ウラジオストックのエスペラントクラブ
からの電子メール 6

第61回道大会の反省 川合由香 6

参加者名簿 8

新聞記事等 9

収支報告書 13

LIBROJ ELDONITAJ DE ELNA 14

Informo de SES

札幌エスペラント会からのお知らせ

Emiko BABA 馬場恵美子 15

Danke ricevitaĵ-受領郵便物

Acuŝi HOŝIDA 星田 淳 16

NEKROLOGO

S-ro SAKURAI, S-ro TAKAHASI

訃報 (桜居甚吉さん, 高橋要一さん)

Acuŝi HOŝIDA 星田 淳

Hiroo KODAMA 児玉広夫 18

Raporto de la komitata kunveno de HEL

委員会報告 Ejko ABE 阿部映子 19

ESPERANTO en LERNEJOJ

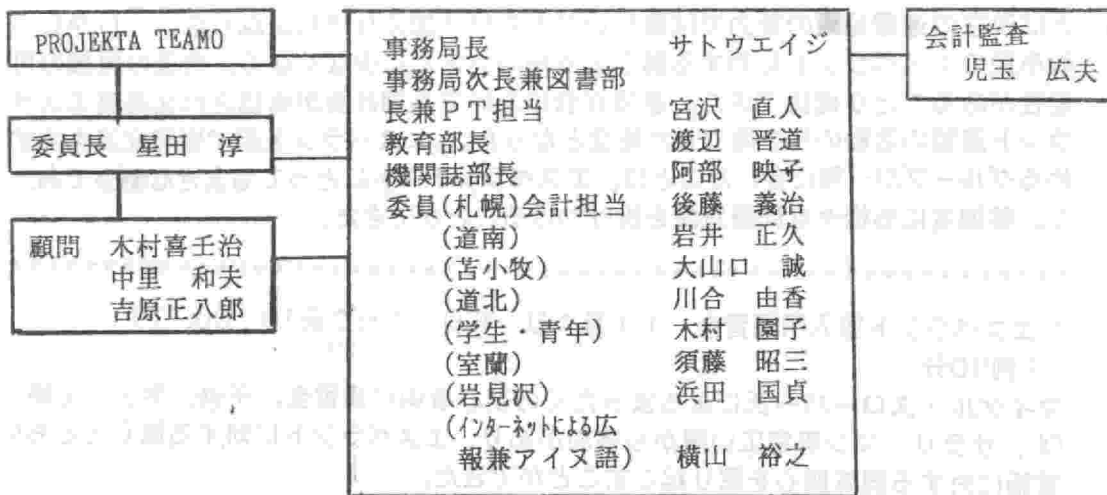
学校とエスペラント

Acuŝi HOŝIDA 星田 淳 19

Novjara Kurso de HEL

新年講習会 20

98年の体制図 (11月22日の委員会で役員人事が次のように決定)



第61回北海道エスペラント大会事業報告書

事業名： 第61回北海道エスペラント大会

実施日時： 1997年11月1日(土)～9日(日)

実施場所： 北海道札幌市北区新琴似及び麻生/プラザ新琴似、ロンデタージョ
札幌市下水道科学館

主催： 北海道エスペラント連盟

第61回北海道エスペラント大会 札幌麻生・新琴似開催実行委員会

大会テーマ： 「街角からの国際交流」

講師： 菊島和子(フリージャーナリスト)

マイケル スローパー(北アメリカエスペラント連盟事務局長)

セルゲイ アニケーエフ(ロシア国立極東大学函館校助教授)

参加人員： 大会参加者総実数 133名(大会企画の一つでも参加された方々の総数)

大会参加者総数 157名(参加者総実数+どの企画にも参加されなかった不在参加者22名と正式参加申込者で全ての企画に不参加の方2名)

- 1 エスペラント語入門講習会 19名
- 2 菊島和子旧ユーゴスラビア情勢報告 13名
- 3 ラジオ対談
- 4 青年エスペランチスト交流会 12名
- 5 社会見学 札幌市下水道科学館 20名
- 6 日本青年エスペラント連絡会機関誌"La Junuloj"編集会議 6名
- 7 連盟総会 43名(連盟員28名、オブザーバー10名、ゲスト5名)
- 8 エスペラント祭 113名

メッセージ： 東北エスペラント連盟、北アメリカエスペラント連盟、ウラジオストクエスペラントクラブ、Myagmar Altanceceg(モンゴル)

本大会に対し後援団体27、賛同団体・個人107を得た。助成金は(財)札幌国際プラザの他に、(財)北方圏交流基金からも受け取ることになった。北海道大会参加者総実数133名(参加者総数157名)は、過去の大会参加を上回る大きな成果であった。参加者はアイヌ、日本人、アメリカ人、ロシア人と多様な民族も含み、民族を超えた友好的雰囲気を楽しんだ。ただしこのような規模の大会を毎年行うことは現在の連盟組織の能力では難しいことも付け加えなければならない。しかし一般市民のエスペラントに対する関心と支持がいまだに少なくなく、今後の発展の可能性があることが確認できた。連盟総会において長期計画が承認され北海道エスペラント連盟の活動の柱を確立した総会となった。エスペラント祭で国際交流をすすめるグループが一同に会したことは、エスペランチストにとっても大きな刺激であった。参加者にも様々な問題意識を投げかけることができた。

1.エスペラント語入門講習会 11月1日～6日、1日2回10:00、19:00

1回90分

マイケル・スローパー氏によるまったくの初心者向け講習会。子供、学生、主婦、OL、サラリーマン等幅広い層から参加があり、エスペラントに対する関心とともに言語に対する興味関心を掘り起こすことができた。

2. 菊島和子氏旧ユーゴスラビア情勢報告会 11月3日 15:00~18:00
主催：大会開催実行委員会、協力：自由学校「遊」、ロンデタージョで開催。地元
エスペ란ティストを訪ねて取材した内戦の傷跡についての報告。

3. ラジオ対談 11月7日 12:30~14:45、15:00~15:55 2部構成
11月10日 12:45~14:45 ラジオカロスFM放送局

7日には菊島和子、セルゲイ・アニケーエフ、マイケル・スローパーら3氏により
エスペラントをテーマに対談。北海道でエスペラントをテーマとした番組がはじ
めてラジオ放送された。10日には菊島和子さんによる旧ユーゴスラビア情勢報告
が放送された。9日のエスペラント祭についても話題となった。2回にわたるラジ
オ放送を通じて、市民にエスペラントをじかに触れてもらうことができた。

4. 青年エスペ란チスト交流会 11月7日 14:00~18:00
全国から若者が集まり、各自の問題意識を出し合いこれからのエスペラントを使っ
た新しい文化の創造、交流の可能性について活発な議論の場を持つことができた。

5. 社会見学 札幌市下水道科学館 11月8日 09:30~11:30
下水道や下水処理システムについての認識を深めた。

6. 日本青年エスペラント連絡会機関誌"La Junuloj"編集会議
11月8日 12:00~14:00 La Junuloj 34号がロンデタージョで印刷さ
れ配付された。

7. 連盟総会 11月8日 15:00~19:30
- 1) 星田委員長の開会の挨拶につづき、マイケル・スローパー、セルゲイ・アニケーエフ、シドニー・タナバン氏らの来賓挨拶。
 - 2) 菊島和子氏による講演「エスペラントを使う」が行われた。世界中のエスペランチストのネットワークによって、マスコミ報道だけでは分からない貴重な情報を得ることができる。それぞれの立場で自分自身に何ができるかという視点で考えて、エスペラントを実際に使うことが重要である。
 - 3) 議長団選出。議長：大鋸敏雄、副議長：児玉広夫、鈴木佳子。エスペラントと日本語の2言語を使用するよう宮沢直人より提案された。時間の制約により日本語での議事進行にするべきとの多数意見により、日本語のみの使用となった。
 - 4) 佐藤英治事務局長が97年度事業報告を行った。(議案書2ページの「2.組織」で講読会員数は8名ではなく7名と変更。)
 - 5) 地方会活動報告。SES(札幌エスペラント会)について馬場恵美子、苫小牧エスペラント会について星田淳、函館エスペラント・ロンドについて岩井正久、SAT札幌について宮沢直人、北大エスペラント会について木村園子よりそれぞれ報告された。渡辺晋道は美唄東高でエスペラントについて講演を行ったことを報告した。
 - 6) 世界大会(星田)、日本大会(大鋸)報告。
 - 7) 渡辺晋道会計係による会計報告のあと、児玉広夫会計監査役より報告された。

97年度事業報告及び決算報告については、原案通り一括承認された。

以下の質議、要望が出された。

決算報告の支出の「事務局費」、「委員長決済」などについて科目をより明確にしてほしいとの要望があり、また仮払金の額が大きく、毎年このような規模の大会

は開けないのではとの発言があった。大会準備のため事前の運転資金として必要であり、毎年は不可能であるが、今年は委員会の承認を受けて大会準備をすすめたと、委員会側が答えた。

8) 連盟委員立候補受付公示。

9) 委員会作成98年度活動方針案(星田)。

10) 98年度予算(案)説明(宮沢)。議案書に対する文書発言が2件あったことが報告された。①天方良彦よりProjekta Teamo提案の「La Movadoを共同機関誌とすること」に対する反対意見②横山裕之よりホームページ開設とアイヌ語関係の担当委員を引き受ける旨の提案。

11) 98年度活動方針は委員会提案通り可決。委員会提案の予算(案)は「事務局予備費」科目を「予備費」に変更して可決承認。

付則：長期計画に基づく「組織宣伝費」10万円の支払いは、事前に委員会の承認を得、Heroldo de HELに報告記事を掲載し会員に知らせることを条件とする。この条件のもとに98年度活動方針は委員会提案通り可決された。

質疑応答

質問：①組織宣伝費10万円の根拠は何か？なし崩し的に予算を使うことにならないための歯止めは何か？②インターネットのホームページ開設の可能性について③Heroldo de HELの発送先を見直すべきではないか？

回答：①97年の函館合宿を考えたとき、外部から準備をすすめ現地に入る場合の経費の目安として10万円を見込んでいる。議案書記載のとおり、98年度の結果によって99年度以降の予算規模について判断する。歯止めとしては、財政の支出について、事前に委員会で確認しHeroldo de HELに報告記事を掲載し会員に知らせるつもりである。②すでに取り組み済みの北大エスペラント会、苫小牧エスペラント会はホームページ開設は無料であったが、厚意によるものである。③発送先見直しについては、委員会内でも検討中であり、その方向で実施している。

12) 次回開催地。委員会提案どおり苫小牧エスペラント会と協力し苫小牧市あるいはその周辺市町村で行うことが決定された。

13) 連盟役員改選。委員会推薦立候補者以外に川合由香の立候補があり計13名となった。98年度選出連盟委員は以下のとおり決まった。

委員長：星田淳 事務局長：佐藤英治 委員：阿部映子、岩井正久、大山口誠、木村園子、後藤義治、須藤昭三、浜田国貞、宮沢直人、横山裕之、渡辺晋道、川合由香

当初無記名投票で準備したが、採決の結果記名投票(挙手)で行うことになった。規約上は委員長、事務局長、会計担当を明らかにして役員改選を行うことになっているが、事前に決定できなかったため、会計担当は改選後の委員会で決定することになった。役員候補について、記名投票(挙手)を行った結果、全員信任された。

14) プロジェクトチーム提案について、宮沢プロジェクトチーム委員が説明した。時間制約があり、十分な討議ができなかった。98年度予算承認により予算措置はとれないことになった。

①「La Movado」を共同機関誌とすることについては継続審議とする。②今年度財政措置はしないが、アイヌ語を大切にす長期的運動をすすめる。③日・エス医療用語対訳対話集を発行することについては継続審議とする。④エスペラント旅行団については廃案とする。⑤エスペラント村については継続審議とする。

8.エスペラント祭。11月9日 13:00~19:00

ステージ：①連盟有志によるエスペラント語人形劇「かぐや姫」上演②講演 菊島和子さん「ボスニア・ヘルツェゴビナー戦争の両側を旅して」では知人のエスペラント人たちを訪問して取材した際、撮影したスライド上映を解説をまじえて行った。両地域における戦争被害の傷跡が、建物はともかくいまだに人々の心に生々しく残っている様子が報告された。人形劇を使った慰安訪問による支援が現地の被災者たちを励ましている様子がうかがえた。③講演と討論「異文化交流と言語の役割」で、マイケル・スローパーさんは英語とエスペラント語についてどちらが国際語としてふさわしいかを説明した。英語は、政治力や経済力の強い大国が使用しているために国際語としての役割を果たすようになった。しかし言語の平等性、民主性からはふさわしくない。つづいてセルゲイ・アニケーエフさんは、全世界的規模の現代的諸問題を解決するためには、その時々の大国の利益のために広く使用される言語よりも、エスペラントが適していると述べた。そのためにエスペラントを実践的に使用することが重要であることを強調した。平取でアイヌ語学校を主催している山道康子さんは発言の中で、過去のような侵略や征服が再び起こらないようにするため、徹底した討論によってお互いを理解し、人々が共存していくことの大切さを訴えた。④歌と踊り（山道康子アイヌ語学校）でアイヌの踊りと歌が、世界のエスペラント大会史上初めて紹介された。⑤和太鼓演奏（猪股一男、ピアノと語り：宮沢直人）

各展示ブース：大会プログラム掲載のほかに「北大人骨問題」（ピリカ実行委員会）についてのパネルが展示された。ロシア料理店ではピロシキやボルシチが販売され、バザーやアイヌ民族装飾品店が開かれた。

第61回北海道大会オブザーバー参加者の感想

白熱した討論会ですごいと思いました。
また参加したいです。白石千尋

宮沢が見せたかったもの(苦勞)を見ることができてよかった。
外山恒一

札幌は室内温度調整が万全で室内の参加者のほっぺの赤が
⑤でした。手塚裕美

「言語を習う」のではなく、言語とは何かと云う事を学んだ様に
思います。日高明子

みんながあつかった。
私も中に入りたかった。
宮沢さんのいいとこ、すごいとこ、
またみえちゃった。
3年後の大会をみてみたいねえ。
E j k o

日本のエスペラント界では残念ながらあまり見ることがな議論を目のあたりにして、
妙に感動しました。
意欲的な事業計画に力づけられました。
Antaŭen! ⑤

Gratulo de Vladivostoka E-klubo PACIFIKO
por la 61-a Hokkajda Kongreso de Esperanto

ウラジオストックのエスペラントクラブから次の電子メールが大会寸前に来ました。開会前日の6日午後発信、7日朝受けて会場へ持参したが大会の文書には入らなかったのここで紹介します。

★0938544 97/11/06 13:44:52

発信者: INET#espero@pub.marine.su "Alexandr B. Titaev"

受信者: MCM63639 星田 淳

文書名: gratulo Message-Id: <ADODLOq0B3@pub.marine.su>

Date: Thu Nov 6 12:19:20 1997

Kara samideano HOŠIDA Acuŝi, karaj japanaj geamikoj,
bonvolu akcepti varmajn gratulojn kaj plej bonajn dezirojn okaze de la 61-a Hokkajda Kongreso de Esperanto. Vivu paco kaj amikeco inter la popoloj de JAPANIO kaj RUSIO, inter la japanaj kaj rusiaj geesperantistoj, inter E-organizoj de Hokkajdo kaj For-Oriento de Rusio.

Je la nomo de For-Orientaj Esperantistoj, sincere

Aleksandr Titajev, prezidanto de E-klubo PACIFIKO, estrarano
de Rusia Esperantista Unio

P.S. La 21-26 an de Aprilo, 1998 en Vladivostoko surbaze de For-Orienta

Ŝtata Teknika Universitato okazos la Studenta

Scienc-Teknika Konferenco enkadre de kiu funkcios la sekcio

"Esperanto en scienco, tekniko kaj praktiko",

la 1-6an de Julio, 1998 - la Junulara renkontiĝo "Vladivostokaj Esperanto-Tagoj"

(JuRVET, 98).

Bonvenon al Vladivostoko!

今回の道大会について、様々な感想がありました。まずは川合由香さんから寄せられた「第61回道大会の反省」の抜粋を掲載しますので、皆さんも「私はこう思った。こうしたらよかった」という意見をぜひ次号にお寄せください。忌憚のない意見をお待ちしています。

第61回道大会の反省

1997年11月23日 川合由香

エスペラント祭について

(< > 内は、編集阿部)

・大会についての、またエスペラントについての宣伝活動は必要かつ十分なものだったと思う。しかし、今回の一般参加者のうち、連盟員(とくに SAT のメンバー)の人脈によらない、純粹な意味での一般市民はまだ少数であった。今後、LKK に SAT がかわっていても多数の一般参加者をめざすのならば、大会の前だけでなく年間を通しての宣伝をより強力に進める必要がある。

・HELの人的・財政的負担で恒常的な宣伝活動にかかわる分を97年を参考に明らかにし、今後に活かす(予算措置を伴う)べきである。

・大会の準備・運営に携わるスタッフが、とくに大会直前―当日は連日のように入れ替わっていた。そのなかで、どの仕事は誰が責任者であるか、大きな仕事については早めに確定しておくことが必要だったと思う。→マーさんvs川合のけんか、菊島さんのお叱り etc .

・会場の下見とパネルなどの配置の見取り図ができていなかった。そのため、展示参加者に迷惑をかけてしまった。

・講演だけ聞いて、展示を見ていない人がかなりいた。司会者が展示について説明した方が良いと思った。

ひとことというなら、大成功だったと思う。

《エスペラント祭については、「エスペラントを知りたい人に、もっと札幌市内での情報や北海道内のエスペラント運動について歴史や現状を説明する資料があれば良かった」「パネル展示も、市民運動や民族運動が目立ち、エスペラントが脇になった感じ」「エスペラントを広めたいなら、マイナスだった。一般常識とかけ離れ過ぎた服装(宮沢さんが女物の着物を羽織っていたことを指す)は変わった人の集団と思われたのでは?」「菊島さんの講演で時間がずれこんでしまったが、一般の人が多く来ると思われる前半にディスカッションを行ってほしかった」との声も聞いていますが、「あれだけのことがよくできた。すごい努力。」と、LKKの努力を認める声も結構あるようです。私個人としては、たまにはこんなのもいいと、あまり手伝いもせず無責任に面白がっていました。パネル展示を始めとして会場の準備は大変だったようです。》 阿部

連盟総会について

・時間の配分がうまくなかった。前半を非生産的な議論(?)に費やしてしまい、後半の98年度方針やPTの提案はほとんど論議されないままなしくずし的に決まった感がある。これは議長の腕うんぬんではなく、連盟員全体の問題であろう。また、時間的余裕がもっとほしいと思った。

HEL会員の大多数の懸念は、つまるところ「SATがHELを左の色に染めてしまうのではないか」「(SAT、PTをはじめとする)若手が予算の無駄遣いをしないか」ということだと考える。これらに対して、SATあるいは委員会は「大丈夫」と請け合っているのだから、あとは信用してもらうしかない。また、委員会に対して議案書を寄せてもらう(今まででもそうだったが、さらに徹底する)とか、機関紙にあわせてアンケートをとるなどして、委員会が連盟員の意見を吸い上げる努力も必要と思われる。

・写真撮影がなかった。

・“La espero”, “” La tagigo” を歌わなかった。

《“La espero”, “” La tagigo” は、あえてプログラムに入れずに歌いたい時に自発的にとの考えもあったのですが、議論白熱で歌う暇がなくなっていました。思っていることを率直に議論できるのは素晴らしいことだと思います。機関誌は連盟員のためのものです。一方的な情報や記事の提供だけではなく、意見もどしどし載せていきたいと思いますので、ご協力ください》

阿部

第6 1回北海道エスベラント連盟総会参加者名簿 (敬称略)

NO	氏名	〒	住所	備考
1	阿部 映子	001	札幌市北区北12条西1丁目602	
2	伊藤 直樹	065	札幌市東区北19条東7丁目	
3	猪俣 一男	093-02	常呂郡常呂町栄浦 115-1	
4	岩井 正久	041	函館市美原4-12-16	
5	岩崎 泰夫	061-13	恵庭市恵み野西6丁目6-13	
6	大鋸 敏雄	316	茨城県日立市森山町3-17-3 森山寮406	
7	大山口 誠	053	苫小牧市柏木町1丁目7-2	当日欠席
8	小淵 修子	004	札幌市厚別区厚別中央2条4丁目15-2-1203	当日欠席
9	金森 美子	060	札幌市中央区北7条西15丁目	
10	川合 由香	098-28	中川郡中川町中川430-40	
11	木村 園子	001	札幌市北区北16条西3丁目4	
12	児玉 広夫	061-11	北広島市広葉町1-1-16	
13	後藤 義治	003	札幌市白石区平和通6丁目南3-35	
14	小林 貴美子	060	札幌市中央区北20条西15丁目4-10	
15	権野 正浩	001	札幌市北区麻生町2-6-1, 101	
16	佐藤 英治	063	札幌市西区八軒10条東2丁目2-11	
17	末永 章子	066	千歳市日の出2丁目3-14	
18	鈴木 佳子	001	札幌市北区麻生町1-3-11, B-1	
19	瀬川 綾子	065	札幌市東区北43条東6丁目2-20	
20	SERGEJ ANIKEEV	040	函館市末広町19-16 クリフハイツ305	
21	瀧上 美登里	001	札幌市北区新川3条4丁目8-17	当日欠席
22	豊蔵 正吾	065	札幌市東区北26条東5丁目1番8号	
23	土居 信彦	062	札幌市豊平区水車町5-7-1-208	
24	永井 奈津子	350-11	埼玉県川越市砂新田1-7-9-105	
25	二郷 美砂子	004	札幌市厚別区厚別西2-1	
26	馬場 恵美子	001	札幌市北区新琴似7条8丁目5-34	
27	星田 淳	053	苫小牧市宮の森町2-18-18	
28	星田 文子	053	苫小牧市宮の森町2-18-18	
29	三浦 清	068	岩見沢市春日町1丁目2-3	当日欠席
30	宮沢 直人	001	札幌市北区麻生町1-3-13	
31	山岸 悦子	064	札幌市中央区南7条西1丁目	
32	山口 紀代美	001	札幌市北区北22条西3丁目1-24	
33	山下 博子	063	札幌市西区発寒7条9丁目1-29 コーポ新道3号室	当日欠席
34	渡辺 晋道	068	岩見沢市1条東6丁目 法然寺	
35	渡辺 康子	066	千歳市高台3丁目1番2-206号	
36	天方 良彦	078	旭川市東光8条2丁目2-20 シルキー82-R202	不在
37	大原 喬	419-01	静岡県田方郡函南町柏谷1277-7	不在
38	影浦 英明	053	苫小牧市北光町3-6-7	不在
39	影浦 泰子	053	苫小牧市北光町3-6-7	不在
40	樺山 裕介	053	苫小牧市山手町1丁目1-13 オレンジコーポ A206	不在
41	木村 喜壬治	003	札幌市白石区本通17丁目南11-14	不在
42	佐藤 奈美子	065	札幌市東区中沼町16	不在
43	佐藤 晴美	065	札幌市東区中沼町16	不在
44	佐藤 弘子	065	札幌市東区中沼町16	不在
45	佐藤 布美子	065	札幌市東区中沼町16	不在

N()	氏名	〒	住所	備考
46	柴田 智美	053	苫小牧市王子町3丁目3-3	不在
47	高田 如恵	515-33	三重県一志郡美杉村丹生俣 808	不在
48	竹内 義一	569	高槻市登町5-A35-402	不在
49	中里 和夫	066	千歳市春日町1丁目1	不在
50	西海 太郎	133	東京都江戸川区北小岩 6-31-19	不在
51	藤巻 謙一	410	沼津市岡一色 501	不在
52	三ツ石 浩	454	名古屋市中川区春田2丁目32番地 1-704	不在
53	港 利子	003	札幌市白石区南郷通 14丁目北 1-6	不在
54	宮岸 忠孝	062	札幌市豊平区西岡2条11丁目19-1	不在
55	ヤマサキ セイコー	185	国分寺市東恋ヶ窪3丁目18-12	不在
56	横山 裕之	044	虹田郡倶知安町北7条西4丁目1-29-302	不在
57	吉原 正八郎	060	札幌市中央区北2条西14丁目ダイアパレス北2条801	不在
58	義村 政見	064	札幌市中央区南18条西9丁目1-22	不在
59	Reza Kheir Khah	344	Kasukabe-si, Oeda 605, La Belle vie 104	不在
60	加藤 直樹	181	東京都三鷹市上連雀 1-24-2 コーポミヨシ 105	道外
61	木村 護郎	156	東京都世田谷区経堂 5-3-12	道外
62	久保木 英子	287	千葉県佐原市篠原口-1920	道外
63	手塚 裕美	960	福島市新町5-18-27 <i>Laga ezimo de Nasto?</i>	道外
64	外山 恒一	815	福岡市南区高宮 4-14-35 結城アパート1号	道外
65	日高明子	815	福岡市南区野間1丁目19-5 リトルハイツ野間 202	道外
66	EUGENIJ ANIKEEV			ゲスト
67	IVAN ANIKEEV			ゲスト
68	SIDNEY TANABAN			ゲスト
69	MICHAEL SLOPER			ゲスト
70	菊島 和子			ゲスト
71	工藤 まどか	060	札幌市中央区南1条西15丁目1-319-607	傍聴 北大9
72	白石 千尋	001	札幌市北区新琴似12条5丁目2-16	傍聴

旧ユーゴの現状知って

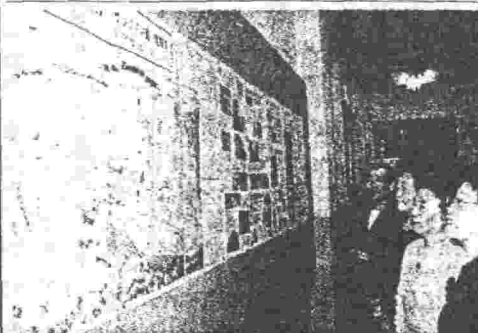
苫小牧で
パネル展
写真、紀行文で訴え

【苫小牧】民族紛争で一万人を越す犠牲者を出した旧ユーゴスラビア共和国の戦禍と現状を伝えるパネル展が一日、苫小牧市公民館で始まった。東京のフリージャーナリスト菊島和子さんの取材に基づくもので、民族と戦争、平和について問いかけている。

苫小牧エスペラント会（星田淳代表、主催）で道内の開催。

菊島さんは二十五年間交流を続ける友人に会うため、昨年七月と今年七月、戦火の収まった旧ユーゴを訪問。ボスニア・ヘルツェ

ゴレナ、クロアチア、セルビア共和国の合計八都市の現状を伝える写真と紀行文をパネルで展示した。ボ



スニアの首都・サラエボの写真をもつて戦争被害の博覧会。サラエボ市内で傷のない建物を見つけるのは「不可能」と説明している。同展は五日まで。五日午後六時半から同公民館で菊島さんの「ボスニア・ヘルツェゴビナ戦争の両側を旅して」と題する講演会があり、この後七日から九日まで、札幌市北区のプラザ新琴似で開かれる道エスペラント大会でも展示される。旧ユーゴの戦禍と現状を紹介する菊島さんのパネル展

学ぼうエスペラント語

第六十一回北海道エスペラント大会開催実行委員会は十一月一日から六日まで、エスペラント語入門講習会を札幌市北区麻生町一ノ三のロンデタージョ三階で開く。

屋の部（午前十時～十一時半）と夜の部（午後七時～八時半）の二部制。講師は、米国人のマイケル・スローパー氏で、エスペラント語の「初歩の初歩」を学ぶ。

会費は六百円。申し込みは同実行委 717・4189へ。

エスペラント祭

国際共通語エスペラント語を通じて異文化交流を目指すエスペラント祭が九日、札幌市北区新琴似のプラザ新琴似で開かれる。講演や各種展示のほか、海外からエスペラントリストも多数参加する予定で、主催する北海道エスペラント連盟は「街角からの国際交流を

進める機会。ぜひ参加を」と呼び掛けている。同日は午後一時からエスペラント語による人形劇「かぐや姫」、フリージャーナリスト菊島和子さんの講演「ボスニア・ヘルツェゴビナ戦争の両側を旅して」、アメリカエスペラント連盟のマイケル・スローパー事務局長らが参加する討論会「異文化交流と言語」などを行う。

参加費は二百円で、高校生以下は無料。問い合わせなどは北海道連盟 011-717・4189へ。

OPINION

Internationalize with Esperanto

Yona Altshuler's Nov. 2 letter "Japan's bad attitude toward English" finished with the sentence, "Change must be made not only in the schools, but also in Japanese society's overall attitude toward the English language." I agree with this, but with the opposite intention of that which Altshuler suggests. I propose that the Japanese schools, government and society at large reduce their support of English, and expend resources to teach and utilize the neutral international bridge-language Esperanto. Japan is in a strong position to influence language policy throughout the world by supporting this well-engineered language. If, however, Japan continues to kowtow to the current policy of using a national language (English) in international contexts, it will continue to lend credibility to a system that inherently grants huge advantages to Americans, Australians, Britons and other native speakers of English.

Holger Ellenberger opined that "Educational reforms in Japan should include the study of other foreign languages in addition to English" ("Multilingual beats bilingual," Nov. 5). I recommend that Japan recognize that English is an inappropriate first foreign language, for it is riddled with exceptions and therefore causes many students to develop a bad attitude toward language learning. We should also recognize that most Japanese do not master English, despite many years wasted studying the language. An introductory course in Esperanto would serve as a better introduction to language study in general, would eventually improve the students' abilities in other languages, and also give a basis for improving linguistic rights and equality in international contexts, undermining the current hegemony of English. In fact, this is the subject of a speech I shall deliver this Sunday at the convention of the Hokkaido Esperanto League: "The advantages and disadvantages of English vs. Esperanto in international meetings." Please contact me at (011) 717-4189 for details.

MICHAEL SLOPER

Sapporo

エスペラント祭開催

9日、北区の
ブラザ新琴似

国際共通語として考案されたエスペラント語の普及活動を行っている北海道エスペラント連盟は9日、札幌市北区新琴似7の4のブラザ新琴似で「エスペラント祭」を開く。同祭では、戦乱の旧ユーゴスラビアで

使われたエスペラント語の効用についての講演も行われる。

講演を行うのは、エスペラント歴30年の日本エスペラント学会員の菊島和子さん(56)。多言語国家だった

旧ユーゴはエスペラント語の普及率が比較的高いが、菊島さんはボスニア・ヘルツェゴビナを昨年と今年、クロアチア側とセルビア側

の両方から入国。エスペラント語で両国の人々と話した。菊島さんはエスペラント語を通し平和と戦争、民族や宗教を考えていきたいと話している。

同祭は9日午後1時〜午後7時。入場料200円。ほかマイケル・スローパー・アメリカエスペラント連盟事務局長の講演やエスペラント語による人形劇な

ども行われる。

エスペラント語は1887年にロシア領ポーランド(当時)の眼科医が言語の造りによる民族対立の回避を目的に考案、提唱した国際共通語。北海道エスペラント連盟によると、世界で200万〜300万人、全国で約1万人、道内で100〜2000人が話せるという。

の両方から入国。エスペラント語で両国の人々と話した。菊島さんはエスペラント語を通し平和と戦争、民族や宗教を考えていきたいと話している。

ラジオカワ

78.1

(7日)

- 10:00 丸善ライブラリー
- 10:55 こころのともしび
- 11:00 友希子の我仮気風
- 12:00 ハローワーク求人
- 12:30 エスペラント特集
- 14:30 ミケール素敵な話
- 18:10 AIR JACK
- 19:45 ブルース・アレイ
- 21:00 MEWLOGIC
- 22:00 森崎の元氣だして

11/7 北海道タイムス
FAX 6222-2222
6222-2222

11/7の読売新聞

「エスペラント祭」

9日、北区

エスペラント語の普及と民間による国際交流の推進を目指す北海道エスペラント連盟(星田淳委員長)は9日、札幌市北区新琴似の「ブラザ新琴似」大ホールで、「エスペラント祭」を開催する。

エスペラント語の人形劇「かぐや姫」の上演に続き、フリージャーナリストの菊島和子さんによる講演「ボスニア・ヘルツェゴビナ

戦争の両側を旅して」が行われる。また、アメリカエスペラント連盟事務局長のマイケル・スローパーさんが「異文化交流と言語の役割」について講演した後、ロシア国立極東大学図書館のセルゲイ・テニキーエフ助教授を交え、会場参加者とのディスカッションを予定している。

午後一時から午後七時まで。問い合わせは北海道エスペラント大会事務局(電話011-717-4189)へ。

エスペラント大会

9日に北区で

第六十一回北海道エスペラント大会が9日、札幌市北区新琴似のブラザ新琴似で開催される。

大会のテーマは「街角から国際交流」。海外からエスペラントリストを招き、異文化交流の難しさや楽しさを経験し、考える場にと、北海道エスペラント連盟などが主催。大会は午後一時から七時まで。道内のエスペラント人口

は百数十人という。

会場では、エスペラントグループや国際交流市民グループ、日高支庁平取町にある山道康子アイヌ語学校など言語・文化サークルの展示、発表のほか、講演と討論会がある。参加費二百円(高校生以下無料)。問い合わせは同大会事務局(011-717-4189)へ。

11/5 朝日新聞

11月12日のジャパントイムズの投書を読みました。"Internationalize with Esperanto" ということですが、まったく同感です。わたくし自身、長年エスペラント語を勉強しているものですが、エス語が世間で忘れられようとしていることに危惧をいただいています。英語が国際語になりつつあることは、認めないわけにはいきませんが、はたして、これでよいのでしょうか。英米人などの母国語である英語が、国際共通語になってしまいますと、英語を母国語としない人々は不利になってしまいます。どの民族にも属さず、学習の容易な、エス語のような言語が国際補助語になっていくべきだと思います。もっとも、エス語といえども、完全に中立的というわけではありません。エス語はヨーロッパ語ですので、日本人や中国人にとっては難しい言語であることには変わりはありません。しかし、英語などに比べれば、問題にならないくらい合理的で、学びやすい言語です。今回、SLOPERさんが、ジャパントイムズに投稿されたことは、たいへん素晴らしいことで、多くの人々がエス語に関心をもっていくことを期待しています。

Kun granda mĵo mi legis vian kontribuon en "The Japan Times". Mi mem ne abonas la anglalingvan (aĵurnalon, sed unu el miaj amikoj) informis min pri ĝi, kvankam li ne estas esperantisto. Kaj li sendis al mi ellondaĵon pri via kontribuo. Profesie mi estas anglalingva cicerono dum longaj jaroj. Mi ne povas ne agnoski ke angla funkcias kiel internacia helplingvo. Tamen mi dubas ĉu estus ĝuste kaj juste rekoni la anglan lingvon, unu el naciaj lingvoj, kiel la internacian lingvon, kiun la resto de la mondo devus ellerni kaj posedi en la daŭro de edukado. Estas ege malfacile kaj penige por japanoj flue paroli anglan, ĉar la japana lingvo tre malsamas je angla. Kial japanoj devus uzi anglan kun anglalingvanoj ĉi-tie logantaj longjare? Estus multe utile kaj fruktoplene rekoni unu "neutralan" lingvon kiel pontlingvon por diverslingvaj popoloj. Esperanto povas esti unu el tiuj solviloj.

I appreciate your letter in The Japan Times. I have been an English-speaking tour escort over the past 16 years, and I have to admit that English is becoming the International Auxiliary Language. But this is not fair, because English is the mother tongue of Americans, Britons etc. Think of Japanese as an International Language that the rest of the world should learn to speak!

My name is Mr. Takeo Igarashi. Adress: Asakusa 5-29-5, Talto-ku, Tokyo, 111
TEL & FAX 03-3876-2008 Please contact me.

1/6 北海9/4ス

9日に「エスペラント祭」

札幌で 言葉通して国際交流

言葉を通して国際交流と世界平和を考え、公正で平等な国際連合秩序の構築を目指す「エスペラント運動」をすすめる道エスペラント連盟(星田淳委員長は、九日午後一時から、札幌市北区新琴以七ノ四のプラザ新琴以を会場に第六十一回北海道エスペラント大会「エスペラント祭」を開く。

海外からエスペラントチスを招き、講演や討論会を行うほか、道内のエスペラントグループ、国際交流をすすめている市民グループなどの展示、発表も行われる。今回は特に草の根で国際交流や異文化交流をすすめているグループとの協力関係を広げ、同実行委員会では「エスペラント運動への理解と共に、一般市民に国際交流のさまざまなあり方を体感してもらえたら」と来場を呼び掛けている。

大会ではエスペラント語の人形劇「かぐや姫」上演

に続き、フリージャーナリストの菊島和子さんが「ボスニア・ヘルツェゴビナ戦争の両側を旅して」5日午後6時30分、若小牧市民館。ジャーナリストの菊島さんが、旧ユーゴの民族紛争の真相を語る。無料。

◆菊島和子講演会「ボスニア、ヘルツェゴビナ戦争の両側を旅して」5日午後6時30分、若小牧市民館。ジャーナリストの菊島さんが、旧ユーゴの民族紛争の真相を語る。無料。

講演 演

参加は一般二百円、高校生以下無料。問い合わせは大会実行委員会事務局(〒001 札幌市北区麻生町一ノ三ア一三、ロンデター) ジョウ011-717-1714 (189)。

この文章は、今年の日本大会 SAT 分科会及び青年分科会で配布したものです。
SAT-Sapporo が、なぜ連盟の活動に深く関わる決意をしたかの参考になると思
います。筆者は宮沢直人さんです。(Rekto=直)

DEKLARO DE MILITO POR NEU^TRALA MOVADO

Jam sufic^as.

ke trovig^as vaste neglektoj de unu el plej gravaj homaj rajtoj. lingva identeco.

ke trovig^as c^ie devigoj de lernado de lingvoj kiujn potenculoj alte taksas.

ke trovig^as lingvaj jug^istoj kiuj havas rajton decidi korektan kaj fus^an.

Ankau^ sufic^as.

ke trovig^as senc^esaj plendoj pro socia neglekto pri Esperanto.

ke trovig^as eternaj komencantoj pro hontemo al intelektuloj.

ke trovig^as nekurag^uloj kiuj lernas nenion el eksteresperantujo.

Ni, membroj de SAT-ana Grupo en Sapporo, decidis labori en la administrejo de Hokkajda Esperanto-Ligo. neu^trala movado kiun antaue ni kritikis kaj atente partoprenis kun certa distanco. Kvankam ni ankoraue malamas hobiistojn, simplajn turistojn kaj politikistetojn en la glaso, nun venas la s^anco vastigi kaj propagandi nian lingvon en popolan vivon. Mankas nur kurag^o en la neu^trala movado. Ni laboras kaj laboros por c^iuj esperantistoj, ec^ por malamikoj, c^ar ni povos montri la s^ancon kiun neu^traluloj nun ne povas trovi.

Kun papera laboro, konfuza diskuto, kalkulado de mono kaj burokratema konduto, ni devas agadi por neu^trala movado dum kelka tempo. Per tiuj bagatelaj^oj, ni batalas, por vastigi spacon de popola libero.

Vi c^iuj memagadu, kaptu la s^ancon dum nia batalo. Nia celo estas nuligi Esperantan movadon kaj Esperantistojn. Esperanto estu natura en la mondo. Certe venos nova sento. Tuj ni revenos nian klasbatalon post la vekig^o de neu^traluloj en Hokkajdo. Ni agadas vigle ec^ en la neu^trala movado. Denove, batalu laue via maniero dum ni kaptas la s^ancon! Venu c^i tien kaj disig^u monden!

1997-06-24

membro de SAT-ana Grupo en Sapporo

M. Rekto

第61回北海道エスプラント大会 収支報告書

収入の部		
科目	金額	内訳
大会参加費	107,000	計 65名 参加 35 不在 24 道外 6
入場料	23,800	
助成金	80,000	国際プラザ
	100,000	北方圏交流基金
賛同金	322,000	9団体 98個人 計 107
寄付	107,063	28名以上
入門講座参加費	8,800	19名
バンケード	9,964	連盟総会後交流会
図書販売収入	113,958	
収入合計	872,585	

支出の部		
科目	金額	内訳
会場費	75,250	プラザ新琴似
会場設営費	10,000	
講師料	50,000	Miko, Sergej, Sidney, 菊島
講師招請費	330,180	講師交通費、アイヌ語学校交通費・謝礼
印刷費	115,598	イラストデザイン、ポスター、チラシ、チケット印刷
宣伝広告費	38,895	新聞折り込み、JEIリーフ(2000枚)
事務通信費	94,847	コピー代、郵送代、事務用品、その他
バンケード	9,977	連盟総会後交流会
図書費	157,155	寄贈分含 ¥57,436
支出合計	881,902	

差引残高 △ 9,317

前回委員会で承認された大会決算書に重大な欠陥が発見されました。委員長承認のもとに訂正した決算書をここに掲載します。次回委員会にてこの訂正した決算書について再度報告審議頂き問題点や再度の訂正が必要な場合は機関誌「Heroldo de HEL」誌上で再度発表します。

大会実行委員会

ELNA 発行図書のご案内です。(今回の大会講師の一人 M i k o ことマイケル スローパーさんから、購入希望者は直接申込みされたいとのこと)

LIBROJ ELDONITAJ DE ELNA

COMPREHENSIVE ENGLISH-ESPERANTO DICTIONARY, *Peter J. BENSON*. La plej riĉa angla-Esperanta vortaro; enhavas multajn kapvortojn tipajn al la nebrita angla. Bonega helpilo por plibonigi onian anglan. 1995. 607p. 215x140; ISBN 0-939785-02-1 bindita (USD26,95); ISBN 0-939784-03-X broŝurita (USD19,95)

ESPERANTO LANGUAGE IN ELEMENTARY SCHOOLS, *THE, Red. R. Kent JONES*. Kolekto de eseoj kaj leteroj pri Esperanto kiel normala studobjekto en lernejoj. Anglalingva. Dua eldono 1997. 42p. 280x215; spirale bindita (USD5,00)

ESPERANTO • LEARNING AND USING THE INTERNATIONAL LANGUAGE, *David RICHARDSON*. Moderna Esperanto-lernolibro por anglalingvanoj, kun bildoj kaj Esperanta-angla vortaro. Dua eldono 1990. 368p. 215x140; ISBN 0-939785-00-5 bindita (USD14,95)

KVAR TEATRAĴOJ, *CULBERT Ruto*. Kvar unuaktaj teatraĵoj, el kiuj tri gajnis premiojn. Koloraj ilustraĵoj. 1994. 148p. 275x215; broŝurita (USD12,75)

STEP BY STEP IN ESPERANTO, *Montagu C. BUTLER*. Unu inter la plej popularaj Esperanto-lernolibroj por anglalingvanoj. Naŭa eldono 1991. 281p. 180x120; ISBN 0-939785-01-3 bindita (USD 12,95)

Revendistoj mendantaj minimume tri ekzemplerojn de la sama libro sendotajn samtempe al la sama adreso ricevas 33-procentan rabaton.

Al ĉiuj mendoj aldoniĝas 10% por surfacaj sendokostoj (minimume USD2,00) aŭ 25% por aeraj sendokostoj (minimume USD5,00).

Unuopaj mendoj devas esti antaŭpagitaj. Nepagitaj mendoj ne plenumiĝos.

Revendistoj ricevos fakturon kune kun la libroj.

Pagi eblas per:

- ĉeko aŭ monmandato en USD monigebla en USONO sen kromkostoj niaflanke; la ĉeko aŭ la monmandato estu pagebla al *ELNA*;
- la ĝirsistemo de UEA, al la konto: *elna-w*; oni indiku la pagitan sumon en USD kaj sendu kopion de la ĝirilo al la adreso sube;
- kontanta mono (nur USD) sendita proprariske al la adreso sube.

Ni ne akceptas internaciajn respondkuponojn kaj aliajn valutojn ol usonajn dolarojn.

Por pliaj detaloj aŭ por mendoj, bonvolu kontakti: Esperanto-Ligo por Norda Ameriko, P.O. Box 1129, El Cerrito CA 94530, USONO; tel. +1-510-6530998; fakso: +1-510-6531468; e-poŝto: elna@esperanto-usa.org.

札幌エスペラント会からのお知らせ

Informo de Sapporo-Esperanto-Societo

ザメンホフ祭

日時：12月13日(土)午後1時～4時
 会場：かでの2・7(北2西7)。520B
 内容：人形劇「ブレーメンの音楽隊」

持ち寄り品によるバザー
 ザメンホフについて
 各エスペラント大会の参加報告
 歌など(独唱可能)

参加費：無料(参加資格は問いません。札エス
 会以外の方もご参加下さい)

その他：バザー出品の小物をお持ち寄り下さい
 歌の本(No1-3)も忘れずに
 参加希望者は直接会場へ

札エス会総会

日時：2月21日(土)午後1時～4時
 会場：かでの2・7。810B
 内容：会計報告

活動報告

参加費：無料

その他：提案意見がありましたら事務局まで
 参加希望者は直接会場へ

年末年始の例会日程

97年の年末は12月13日(土)のザメンホフ
 祭を最終に、98年の年頭は1月17日(土)
 とします。お間違えの無いように!

★★★札幌エスペラント会事務局★★★

札幌市北区新琴似7条8丁目5番34号

☎ 馬場 恵美子

電話/FAX (011)761-8060 *夜9時以降

秋季1日講習会報告

9月20日(土)午後1時～4時まで、かでの2・7
 女性プラザで行われた。講師は昨年に引き続き
 苫小牧から星田淳氏。

「まずは口を開いてもらおう」とのことで初級程
 度の挨拶からスタート。大きな名札を持ち“Mi
 estas××”と10年来のエスペラント仲間に初対
 面のような大げさな表情たっぷりの自己紹介に
 笑いが漏れる。「Maziのビデオを使って」では星
 田氏から今年の世界大会(オーストラリア)での
 教育問題分科会で、この国には英語教育だけで
 はカバーしきれない問題があり小学校のころか
 ら外国語になれさせる必要があり幾つかの言語
 の中でエスペラントを採用しているとのこと。
 ビデオを見ながら現地で実際に使用されている
 小学1年生の練習問題を行う。私自身 Mazi の
 ビデオは漠然と一通り見たがこんなにスグレモ
 ノとは思わなかった。(ビデオに関しては道連
 盟の教育部に照会をすることをお勧めします)
 続いて世界大会で仕入れたオーストラリア国歌
 と valsigante matildanを歌う。(私はこちら
 が国歌と思っていた。)この後中級程度の会話な
 どを予定していたが残念ながら時間切れ。講習
 会を総括すると参加者自体のレベルが向上し、
 もはや初級では物足りなくなっているが、入門
 講座受講中の者も参加している関係からバラン
 スをとることが難しい。札エス会独自の講
 習会は2回目だが次回以降の在り方を工夫する
 必要があるようだ。

参加費500円。参加者21名。

講習会終了後来札中のシドニー氏(米国)と有
 志で食事が行われた。(B)

*Novajoj Tamtamas:n-ro127, julio 1997, A5 X 8 頁、全文エスペラント(JER=横浜エスペラント会) いつもながら現在の日本、そこに住む外国人の声の紹介。この号のトップ記事は"Kimono nun..."

*LA TAMTAMO: 第282号(1997年7月号) 横浜エスペラント会(JER), A5 X 8 頁、日本語。「秋の入門講習会」の指導者として名が出ている相田弥生さんは今年のUKのTEKカラバノ東京発Bコースで、北海道からの6人と同グループだった。

「中村栄治さんの思い出を語る会」の予告と、何人かの追悼記事。7月23日87才で亡くなったこの人、1990年5月、滝野自然公園での北海道合宿に横浜から参加していたのを覚えている人は多いと思う。

*LA TAMTAMO: 第283号(1997年8月号) 横浜エスペラント会(JER), A5 X 8 頁、日本語。「瑛九とエスペラント」(土居智江子)が4頁半、次号に続く。

*Novajoj Tamtamas:n-ro128, aŭgusto 1997, A5X8 頁、全文エスペラント(JER) トップ記事は三味線と猫、動物保護の問題。

*La Movado N-ro 558, aŭg.1997, B5版16頁の内エスペラント文は計1頁強。"mano en mano" (野村理兵衛) は、このいわゆる interpozitivo について「ザメンホフには目的格の用例 (manon en mano式) も少なくともありません」とその例を列挙し、この両者にどんな違いがあるのかを考察している。

*アートホテルズ札幌開業のご案内 (加森観光)
*VOJO SENLIMA N-ro 138. Aŭgusto 1997, 熊本エスペラント会。「田上さんの名刺」はエスペラントについての無料広告の話。ラジオ・テレビの無料アンケート、図書館のリクエスト、バッジ・シールなど、考えればいろいろあるものだ。

*雑誌「NODE」編集委員会より第3号に出た第61回北海道エスペラント大会の記事コピー等。

*NOVA VOJO:1997.9(N-ro 322 septembro), 大本

エスペラント普及会, A5 X32頁、内エスペラント文計5頁。「外国のエスペランティストをわが校に！」(後藤純子)は小学校のエスペラント・クラブに来たゲルダさんたちのこと。

*Mejlstono '97 SEPT. n-ro 143, 仙台E会 B5X10 頁。のうちエスペラント文2頁。Gerdaさん来訪、サラエボ旅行パネル展の記事など。

*VERDA MONTETO:Septembro, oktobro 1997, 和歌山, N-ro 96; 変形B5版 X8頁のうちエスペラント文1頁弱。Fondita de S-ro Maeda Yonemi en 1980 とあるが、もっと古くからこの名で和歌山から出ていた記憶がある。

*HRKK (北海道ローマ字研究会) 栃内和男さんからがき: "Heroldo de HEL" 69-gō arigatō gozai masita. HEL no gokatuyaku, keihuku site orimasu. Nikayotta risō o motu HRKK to itasimasite, taihen sankō ni nari masu. —

*受講生通信 第54号 1997-09-01:沼津エスペラント会通信講座: B5X6頁、日本語の中に講座修了者のあいさつ文だけがエスペラント。

「1997年の催しの一部」の中に、「—住井すえさんは、沼津E会の活動に、さまざまな支援をしてくださいました。—」また第61回北海道E大会の予告も。

*PONTETO N-ro 165, la 15an de septembro, 1997 関東エスペラント連盟、B5X8頁のうちエスペラント文2頁強。東京目黒で開く第46回関東エスペラント大会の機会に作った「中目黒歴史散歩」"Promenado en historiaj lokoj ĉirkaŭ Nakameguro" はいいアイデア。自分の所でもできそう。

*センター通信: 1997年9月8日名古屋エスペラントセンター発行 N-ro199, B5X8頁、日本語。「ある香港交友記(川合隆史)」連載開始。緑岸企画誕生のいきさつ。

*「列島縦断エコリレー」について: 草の根連合気付 STOP地球温暖化「列島縦断エコリレー」北海道実行委員会

*La Movado N-ro 559, sep. 1997, B5版16頁の内

エスペラント文は計約3頁。

*La Movado N-ro 560, okt. 1997, B5版20頁の内エスペラント文は計約3頁。巻頭の文は「熊本エスペラント会75周年に思う」(野村忠綱)

「レハインさん、如是小学校へ」は姉妹都市からの客と子供たちの交流。

*NOVA VOJO:1997.10 (N-ro 323 oktobro), 大本エスペラント普及会, A5 X32頁、内エスペラント文計6頁強。「なぜ歴史を学ぶのか」(Joel Brozovsky)は日韓関係史シンポジウムを取り上げ、木村護郎J E J会長、小坂清行四国連盟事務局長等の意見を引いて論じているが、考えされられることが多い。

*第38回東北エスペラント大会 INFORMILO 連盟総会は代議員制である。

*Hokkaidō Rōmazi Kenkyū No.94 (復刊68) 北海道ローマ字研究会発行, Hs.9n.10gt.1nt. 「受贈会報」に Herodo de HELの紹介がある。

*Al Vi Kara:N-ro80(1997okt.), 京都エスペラント会, B5 X24頁のうちエスペラント文約3頁。

*LA JAPANA BUDHANO: INFORMILO DE JBLE, N-ro 297, SEPTEMBRO OKTOBRO 1997, 日本仏教エスペラント連盟: A5 X29頁のうちエスペラント文合計約11頁。Unua amo de Namiko (石黒なみ子)は4才の時の話、日本文。

*Novajoj Tamtamas:n-ro129, oktobro 1997, A5X8頁、全文エスペラント(JER), 児童登校拒否、会員の近況インタビューなど工夫している。

*LA TAMTAMO: 第284号(1997年10月号) 横浜エスペラント会(JER), A5 X 8 頁、日本文。内6頁が「瑛九(EiQ)とエスペラント」(土居智江子)の2回目(完結)。

*LA TAMTAMO: 第285号(1997年11月号) 横浜エスペラント会(JER), A5 X 8 頁、日本文。中村栄治さんの思い出なども。

*Novajoj Tamtamas:n-ro130, novembro1997, A5X8頁、全文エスペラント(JER)。この号には地球温暖化や、ダイオキシンを発生するごみ焼却炉の問題など読むべき記事が多いが、ここでも EiQについ

での連載が始まった。

*受講生通信 第55号 1997-11-01:沼津エスペラント会通信講座: B5X6頁のうちエスペラント文1頁弱(修了者の挨拶)。新受講生に函館市の佐々木博美さんの名がある。トップ記事に第61回北海道エスペラント大会の内容紹介。

*NOVA VOJO:1997.11 (N-ro 324 novembro), 大本エスペラント普及会, A5 X32頁、内エスペラント文計10頁。

*佐藤英治事務局長へ釧路市立図書館よりはがき図書資料ご寄贈のお礼: 記 新選エス辞典を含む9冊

*PONTETO 11月号 N-ro 166, la 15an de septembro, 1997: 関東エスペラント連盟: B5X8頁のうちエスペラント文1頁。この発行日にかかわらず、10月25~26日八ヶ岳エスペラント館で行われた合宿の記事が写真入りで出ている。未来の記事も載る PONTETO!

*日程変更のご案内: 11月14日FAX: 北海道自然体験学校NEOS, エコライフ交流センター

*La Movado N-ro 561/562, nov.-dec. 1997, B5版20頁の内エスペラント文は計約4頁。巻頭の文は「由比忠之進さん焼身抗議30年で変わったこと」(ドイ・ヒロカズ)

*関西エスペラント連盟取扱図書目録 1997.12 B5 X16頁、日本文

*センター通信: 1997年11月18日名古屋エスペラントセンター発行 N-ro200, B5X16頁、日本語。特集=センター通信200号記念

「センター通信200号の歩み」「歴代のセンター担当者が語るあのころ」は名古屋のエスペラント運動のこの23年間の貴重な記録。時々出しているらしい「担当者のぼやき」が面白い。北海道でもぼやきたい人は Heroldoに書いてみたら?

*VERDA MONTETO: Novembro, Decembro 1997, 和歌山, N-ro 97; 変形B5版 X6頁のうちエスペラント文2頁。ベトナム訪問記(その5)はハノイで元VPEA会長ダオ・アン・カさんを訪問したことなど。

Forpasis la plej aĝa samidcano en Hokkajdo,

S-ro SAKURAI Jinkiĉi en Iūanai

岩内の桜居甚吉さんが7月16日肺炎でなくなりました。明治38年(1905年)1月16日生まれ、ちょうど満92年6ヵ月。もちろん北海道内エスペランティストの最年長者でした。

ご冥福を祈ります。

桜居さんは小樽商業在学中15才で学習を始め、それ以来77年のエスペラント歴でした。世界大会にも何度か出席されています。

新聞記事にも度々登場されましたが、1992年10月19日~10月29日の間「私のなかの歴史 エスペランティスト 桜居甚吉さん」は北海道新聞紙上に10回に亘り連載されました。

北海道連盟の機関誌では Heroldo de HEL: N-ro 50 (decembro 1993) の「回想 萩原謙造」が最後でしたが、75年前(1922=大正11年)の小樽高商(現小樽商大)でのエスペラント劇の情景を昨日のこのように生き生きと描写してくださいました。(星田)

(故 S-ro高橋要一 のエスペラント歴一星田)

1913年出生

1931年(昭和6年)9月ごろ「新青年」誌上で広告を見て独習開始。12月小樽新聞の記事を見て稲穂の15部消防番屋のザメンホフ祭に参加。

当時は小樽エスペラント会長 S-ro 近藤養蔵、活動家に S-roj 逸見敏男、坂下清一がいた。のち小樽エスペラント会話会を作り会話に力を入れた。HEL 役員は度々やっていたが、1971年から3年間はHEL委員長をつとめた。

機関誌上では LEONTODO 時代には昔の小樽の運動のことや「話しましょう」と会話を勧める文などがある。Heroldo de HEL では「肩の凝らないエスペラント語」をN-ro, 38 から N-ro 47(1993 maj-jul)迄5回に亘って連載したのが最後だった。

高橋要一さん 逝く

5年有余の入院生活、86歳

毎週土曜日の札幌エスペラント会の例会に殆ど欠かす事なく出席されエスペラントを教えておられた高橋さんも、病に勝てず1992年春、脳梗塞に冒され、左半身不随で入院生活を余儀なくされたが、幸い言語障害など全くなき、最初の中村脳神経外科病院や、途中転院されたNTT病院、それから後4年余を過ごされた ひばりが丘病院でのリハビリ訓練と、順調な回復の兆しが見えましたが、2年前腰痛が始まってから次第に病状が悪化して止まることはありませんでした。

毎週土曜日の例会に出たいという一念であの厳しいリハビリ訓練に耐えていたのを目の当たりにして、私も辛かったのですが、お通夜の葬議委員長の挨拶のなかで直接の死因は大腸ガンと聞いて、ショックを隠せないでいる。

高橋さんは戦前からのエスペランティストで、小樽でロシア語を学んでいた事が幸いして、シベリア抑留生活もそれほど苛酷を極めるものではなかったと聞く。

終わりに、60余年にわたり緑の戦士として共に戦った木村喜任治さん(88歳)から高橋さんへの献歌を紹介して合掌。

地の上の国民こそぞり睦み合ふ

世をつくらむと貴兄と六十年

エスペラントの教壇に立つ日を願い来し
貴兄のベットは明るかりけり

後進にすべてを任せ貴兄はいま
祖霊の許に幸くましませ

児玉広夫(札幌)

第8回委員会報告

Raporto de la 8-a komitato kunveno de HEL

[日時] 9月20日(土)午後5時～8時半

[場所] 喫茶店「ひらひら」北区北18西5

[議事内容]

道大会及び連盟總會の内容及び準備について等(資料は事前配布し、前もって目をとってもらい。議長は大賀さんに引き受けてもらえないか打診する。今回は外部参加を呼びかけて今までとは違う形で行うため、総会時間割に、La espero, La tagigo は入れずに自然発生的に歌いたい。委員選出は選挙を行いたい。その他)

第1回委員会報告

Raporto de la 1-a komitato kunveno de HEL

[日時] 11月23日(日)午後6時～9時20分

[場所] ロンデダージョ(札幌市北区麻付1)

[出席者] 星田 淳、サトウエイジ、後藤 義治
宮沢直人、阿部 映子、川合由香
鈴木佳子、権野正浩

[議事内容]

*役員人事

エスペラントは国際語なのでわざわざ国際部を設ける必要はなく、廃止する。図書はロンデダージョに置くので宮沢が担当。会計は後藤が担当。横山はインターネットとアイヌ語担当として、今後どのような活動が可能か委員長や事務局長等と連絡検討していく。川合は道北担当。岩井の担当を函館→道南に変更。木村の担当を北大→青年・学生に変更。顧問に千歳の中里和夫さんに加わってもらう。その他は変更なし(1頁組織図のとおり)。

*第61回道大会事業報告

収支についてLKKから内容の説明(13頁)。HEL機関誌へは報告(2～5頁)に併せ、批判の声や反省点も載せる(6～7頁)。今後の大会運営の参考のため、機関誌で皆の意見を募る。

*地方会建設の可能性

今すぐ会結成は困難ではあるが、日高町、帯広市(近郊)、旭川市、浜益町にエスペランティストがおり、可能性はある。

*機関誌発行等

名簿の整備及び会費未納者への働きかけを続ける。機関誌70号はこれまで同様に送付す

るが次からは名簿に基き送付先を減らす。

*新年講習会

講師にセルゲイさんを予定。今週中に打合せを行い機関誌70号に案内を載せる(20頁)。

*次回(第2回)委員会

[日時]平成10年1月10日(土)午後7時から
[場所]ロンデダージョ(札幌市北区麻付1)

新年講習会にあわせて行い委員以外にも広く参加を呼びかける。委員会に引き続き第1回PTを開催。多数の参加をお待ちします。

*財政

LKKへの仮払金は近日中に清算。LKK購入図書の残本(50,854円)をHELで購入しHEL販売用図書とする。辞書等を常時HELに置き必要に於えられるようにしたい。

ESPERANTO en LERNEJOJ (学校とエスペラント)

HOSIDA Acus'i

*神奈川県新潟高校の北川郁子さんから、来春、公立高校としては初めてエスペラント授業が始まるので、海外の友人へのPetmesuro(生徒に手紙を送ってほしいとの趣旨)を依頼され、10月7日インターネットニュースに記事を出しました。これに対して10月10日ウクライナから祝詞が来ました。北川さんからは「札幌の池田さんから聞いたオーストラリアの教材を見たい」との依頼があり、9月SESの講習で使ったMAZI用のものを送り、ついでにあの教材を作ったオーストラリアのMonash大学に知らせたら、Alan Bishop教授からも祝詞が来ています。来春からの授業の結果が期待されます。

*札幌稲北高校のS-ro池田紘基によると、同じ職場の山崎さん(女性)が勉強を始めました。昔SES会員でHEL役員だったこともある故山崎久蔵教育大教授のお孫さんとのことです。池田さんが「誰にでもできる絵で学ぶ世界共通語エスペラント」(松原言登彦著、小坂校閲)で教えて入門講座を終えました。興味を持った生徒も出てきたので12月テスト終了後、4人の生徒と講習を始める予定です。

FELIĈAN NOVJARON!

98 年新年講習会 を以下の通り開催します。要望・意見がありましたら、事務局新年講習会担当、宮沢までご連絡ください。(TEL/FAX 011-717-4189)

メインテーマ「エスペラント会話－自分の意見を言うてみる」

例えば、「それは私にはりんごに見えます。なぜなら赤くて円いからです。」など

講師：セルゲイ アニケーエフ氏、ほか若干名

1月10日(土) 午後3時～6時

11日(日) 午前9時～12時

場所：ロンデタージョ 001 札幌市北区麻生町1-3-13, 3F ロンデタージョ

TEL/FAX 011-717-4189

参加費：1,000円 高校生以下 無料 (＋カンパを任意で集めて、セルゲイさんの家族の交通費援助にします。あまった場合にはHEL財政にくりいれます。)

宿泊は会場に無料で泊まれます。飲食費等は実費負担となります。

現在、初心者入門講習、エスペラントによるディベート、人形劇、エスペラントの歌、ミコさんセルゲイさんの大会での講演の日本語訳、などの企画も可能であればやりたいと考えています。皆さんのご意見をお寄せ下さい。

北海道エスペラント連盟 教育部

♪ ♪ ♪ ♪ ♪

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

El redakatejo 編集部から

今回は、第61回北海道大会が報告が記事の中心となっていますが、SESのザメンホフ祭(12月13日)と総会(2月21日)の案内(15頁)、HELの新年講習会(1月10・11日)の案内(20頁)、委員会及びPT(1月10日)の案内(18頁)も載せていますので、見逃さないでください。

第61回北海道大会について、皆さんの意見・感想を募集します。手紙・ハガキを1月6日までに編集部阿部までお送りください。

大原喬さん(連盟員・静岡県在住)より自著の『エスペラントは世界を結ぶ』を4冊、連盟に寄贈いただきました。誌上をかりて御礼申しあげます。

(Ejko ABE 阿部映子)

函館のkursoに新人参加!

14日のメールでHEL委員に連絡した沼津E会通信講座の新受講生佐々木博美さん(函館市)について、17日このメールを読んだ函館の岩井さんから次のメールがありました(星田)。

>大会ごろうさんでした。早速佐々木さんに連絡とって、今晚(11/18)のkursoに初参加してくれました。s-ano sergejは欠席でしたが>Euc'jo, Joc'joがいつものように参加してくれ、>たのしいkursoでした。情報ありがとうございます。>ました。 岩井正久(函館) 97.11.18

Heroldo de HEL

第70号(1997.11.30)

北海道エスペラント連盟機関紙
編集部

〒001 札幌市北区北12西1パークMS602

阿部映子気付 電話011-756-2291

郵便振替口座

02700-6-17075

北海道エスペラント連盟